

令和4年度地区まちづくり協議会活動報告の内容

番号	内容
①	地区まちづくり協議会名
②	地区まちづくり協議会の認定日
③	地区まちづくり計画の認定日
④	地区まちづくり協議会の活動テーマ(認定申請書より)
⑤	今年度(R4.4.1～R5.3.31)の主な活動内容
⑥	今年度の活動の成果(よかったこと、評価できること)
⑦	課題や問題、解決に向けての取り組み、改善
⑧	今後の予定
⑨	まちづくり活動費助成

令和4年度 地区まちづくり協議会活動報告

凡例
 ■ 課題や問題について
 □ 解決に向けての取り組み、改善

①名称	②協議会認定日	③計画認定日	④協議会の活動テーマ(認定申請書より)	⑤令和4年度活動内容	⑥よかったこと、評価できること	⑦課題や問題、解決に向けての取り組み、改善	⑧今後の予定	⑨活動費助成
1 白川地区まちづくり協議会	H20年 6月26日	H28年 8月26日	1) 白川地区の良好な景観形成を目指し、景観の保全と育成を検討する。 2) 白川地区の歴史文化の保全と継承及び観光振興のため、金色院跡などの文化財保護や整備を検討する。 3) 白川地区の交通問題の解決に向けて、道路等のあり方について検討する。 4) 白川地区の特産である茶業の振興に向けて検討する。 5) 白川地区の福祉の充実にに向けて検討する。	○ 白川区役員会議へ参加: 1回 ○ 白川区クリーン運動: 1回 ○ 宇治市観光振興課と協議: 1回 ○ 紫式部ゆかりのまち宇治推進プラットフォーム会議に出席: 1回	○ 平安時代のゆかりの地として、また歴史・文化のふるさと白川の地の代表として、紫式部ゆかりのまち宇治推進プラットフォーム会議に参加できたことは大変有意義であった。	■ 白川地区の今後の発展のためには、新集会所を中心とした地域活動、防災計画に積極的に関わっていくこと、また文化財の保護や区民の生活を守る活動に参画していくことが重要。	○ まちづくりに関する会議(役員会含む): 3~4回 令和4年度の活動実績や課題を踏まえ、取り組んでいくことが重要と考えている。	—
2 南陵町地区まちづくり協議会	H20年 12月8日	H23年 10月14日	よい町を育てゆくことを目的とし安心、安全、良好な住環境を守る為の活動。	○ まちづくりに関する会議(役員会含む): 2回 ○ 自治会への活動報告: 2回 ○ 南陵町全13区を対象にした住環境実態調査: 2回 ○ 地区外地権者・管理者に住環境実態調査結果連絡: 1回 ○ 宇治市「地区まちづくり協議会ポスター展」: 1回 ○ 町内の防犯・防災を目的とした夜回り、原則月2回: 22回 ○ 南陵町防災防犯委員会: 3回 ○ 家屋解体・新築及び隣接地開発の協定書の連絡・締結・回覧: 18回 ○ 市に要望書の提出: 2回 ○ 宇治神社に要望書の提出: 1回	○ 年2回実施の「居住環境等実態調査」は、本地区の空き家、空き地並びにそれらの庭木の繁茂状況等の実態を把握できる貴重な機会となっている。調査結果を基に、行政の力を借りながら本地区内外の地権者・管理者に引き続き適正な管理を依頼していく。	■ 宇治市に届出がなく、協定書も締結していない家屋解体事例が2月に発生した。今後は、協定書の締結の有無に関わらず町内の巡回を丁寧にする事、本協議会全役員に協定書の締結状況を細かく知らせ、届出のない解体(あれば)の防止に努めていく。	○ まちづくりに関する会議(役員会含む): 2回 ○ まちづくりに関する勉強会(出前講座): 1回 ○ 自治会広報誌への活動報告: 2回 ○ 南陵町全13区を対象にした住環境実態調査: 2回 ○ 宇治市「地区まちづくり協議会ポスター展」: 1回 ○ 家屋解体・新築及び隣接地開発の協定書の連絡・締結・回覧: 都度 ○ 町内の防犯・防災を目的とした夜回り: 24回 ○ 南陵町の開発と50年の歩み(仮題)編集準備	—
3 南御蔵山地区まちづくり協議会	H21年 8月14日	R2年 11月13日	本協議会は、緑ゆたかで閑静な住環境を維持し、住民の快適で安全な生活を守ることを目標としたまちづくりの実現に向けて、その具体化と推進をはかることを目的とする。	○ まちづくりに関する会議(役員会含む): 12回 ○ 宇治市議会 委員会参考人質問 京都救護施設関係: 1回 ○ 京都市救護施設説明会: 1回 ○ 京都市救護施設、医療少年院跡地問題 説明会: 1回 ○ 自治会役員会および総会: 10回	○ 自治会との関係で、協議会の位置付けについて理解を深めることができ、来期には自治会として具体的な協議ができる体制を組んで取り組むところまで進められた。 ○ また、京都市が進めている救護施設開設に対する取り組みを自治会と一体となって進めている。	■ 協議会活動への参加者が固定されている ■ 協議会活動への参加者が少ない ■ 協議会参加者の年齢構成に偏りがある □ 自治会の中での位置付けを明確にするべく、自治会と協議できる環境を作る。 □ 協議会が持続的に活動できるように、2023期中に自治会の中で制度化することを目指して進めている。	○ まちづくりに関する会議(役員会含む): 13回 ○ ミニコンサートや展覧会など: 2回	—

令和4年度 地区まちづくり協議会活動報告

凡例
 課題や問題について
 解決に向けての取り組み、改善

①名称	②協議会認定日	③計画認定日	④協議会の活動テーマ(認定申請書より)	⑤令和4年度活動内容	⑥よかったこと、評価できること	⑦課題や問題、解決に向けての取り組み、改善	⑧今後の予定	⑨活動費助成
4 宇治市北の玄関街づくり協議会	H21年 9月25日	未	六地蔵地区並びに木幡御蔵山地域の一部の都市機能と生活環境の向上をはかり、安全かつ快適で文化的な街づくりを推進することを目的とする。	○ まちづくりに関する会議(役員会含む):5回	○ 奈良線の複線化やヨーカドー跡地のマンション新築工事等、また地域に新築マンションや住宅の建て替え工事等、この1年間はいろいろあった。これからも行政と地元が理解しあって協力体制をつくっていくことが重要。	■ 市との調整をさらに円滑に行うために、当協議会は奇数月に定例会をしているので、市からの説明をするときなど必要に応じて利用してほしい。	○ まちづくりに関する会議(役員会含む):6回	—
5 志津川地区まちづくり協議会	H22年 2月8日	未	・ 緑豊かな美しい自然を生かしたまちづくり ・ 生涯住み続けられる住環境をつくるまちづくり ・ 助け合って生きていけるまちづくりを目標としたまちづくりを行うことを目的とする。	○ まちづくりに関する会議(役員会含む):4回 ○ 志津川地区まち協ニュース発行:7回 ○ 花野菜いっぱい運動の推進:2回 ○ 椿ロード草刈り:1回 ○ 第4回写真展(志津川カフェ協力):1回 ○ 志津川福祉の園で志津川市(いち):1回	○ 緑豊かな美しい自然を生かしたまちづくりとして花野菜いっぱい運動を推進 ○ 助け合って生きていけるまちづくり活動の一環として、2012年の豪雨災害から10年目の節目に、豪雨災害を振り返る当時の写真を展示 ○ 「まちづくりに欠かせない全区民の情報共有ツールとして、まち協ニュースを1年間で7号発行	■ みんなで考え、判断して進めることの重要性の再認識。 □ 地域の発展、居住者一人一人の幸せを築くために、問題点をみんなで理解し、みんなで考えて行動するために、方針提起を文書で行い各意見を文書で持ち寄って開催するなどの工夫をしている。	○ まちづくりに関する会議(役員会含む):5回 ○ まちづくりに関する勉強会(出前講座):1回 ○ 志津川地区まち協ニュース発行:6回 ○ 花野菜いっぱい運動の推進:2回 ○ 椿ロード草刈り:2回 ○ 写真展(志津川カフェ協力):1回	—
6 明星町地区まちづくり協議会	H22年 6月11日	未	明星町地区の住環境を良好に保ち、健康で安心できる、安全で、住んでよかったと思えるまちづくりの実現に向けて、その具体化と推進を図ることを目的とする。	○ まちづくりに関する会議(役員会含む):13回 ○ こども会との連携イベント(☆2年ぶりのハロウィン企画☆ 明星町☆フリーマーケットでハロウィンを楽しもう):1回 ○ 家屋解体・新築及び隣接地開発の協定書の連絡・締結・回覧:18回 ○ 市に要望書の提出:2回 ○ 宇治神社に要望書の提出:1回 ○ 自治会との会議:3回 ○ 夜間の路上駐車調査:1回	○ まちづくりフェスタとして、子ども会とハロウィン企画でジョイントしました。2年ぶりの催しで子ども100名と保護者が参加。その他フリーマーケットを開催した。 ○ スポーツトレーナーの指導のもと、ウォーキングに特化した健康づくりの会を年6回開催。ヘルスアップだけでなく、町並みを見て歩くことで、まちづくりのためのコミュニケーションとして実施。	■ 明星レインボウバスの利用率は、令和3年は25%だったが、令和4年は51%に。コロナ前は61%だったのでまだ完全には乗客は戻っていない。	○ まちづくりに関する会議(役員会含む):15回 ○ 住民アンケートを交えたディスカッション:2回 ○ 他の部会と共催のもちつき大会	—

令和4年度 地区まちづくり協議会活動報告

凡例
 課題や問題について
 解決に向けての取り組み、改善

①名称	②協議会認定日	③計画認定日	④協議会の活動テーマ(認定申請書より)	⑤令和4年度活動内容	⑥よかったこと、評価できること	⑦課題や問題、解決に向けての取り組み、改善	⑧今後の予定	⑨活動費助成
7 平等院表参道まちづくり協議会	H28年 12月26日	未	平等院表参道が国内・国外のお客様を迎えるにふさわしい通りとなることを目指し、沿道の事業者・住民・行政等が協働して、地域の歴史的・文化的な背景を活かした良好な景観づくりを進めることを本協議会の目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ まちづくりに関する会議(役員会含む):3回 ○ 地藏盆:1回 	○ なし	<ul style="list-style-type: none"> ■ 協議会活動への参加者が固定されている。 ■ コロナ禍の影響もあってか協議会活動への参加者が少ない。 □ 今後はもっと日頃からの声掛けなどコミュニケーションの絶えない街づくりを心がけたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ まちづくりに関する会議(役員会含む):6回 ○ 文化交流音楽イベント:1回 ○ 地藏盆:1回 	—
8 炭山地区まちづくり協議会	H29年 9月20日	未	若い人も高齢の人も豊かな自然環境を生かし安心して楽しく住みつけられることを目標としたまちづくりの実現に向けて、まちづくりの提案・実践と住民の合意形成に留意し、その具現化と推進をはかることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ まちづくりに関する会議(役員会含む):12回 【内容】総会1回、役員会11回 ○ 町内会との懇談会:2回 ○ 清掃行事:1回 【内容】ゴミ拾い ○ まちづくり勉強会:4回 ○ 要望書活動(地域の要望を行政機関等へ文書で提出):2回 ○ 要望書懇談会(市への要望について市各課と地域の懇談):1回 ○ まちづくり協議会ニュースの発行(町内会全戸配布):8回 	<ul style="list-style-type: none"> ○カフェすみやまは、6月以降計画通り、年間16回の開催ができた。コロナ禍で参加者の固定化傾向があり、今後は特にこどもたちの参加を工夫したい。 ○役員会は毎月1回の定期開催ができたので、まちづくりの協議等に時間を割くことができた。また、総会は3年ぶりに対面で開催できた。 ○小冊子「炭山のまちづくり」を編集し、今後のまちづくり計画の参考資料として、5月の総会時に配布した。 ○市の市民協働推進課と「地域コミュニティ活性化のための意見交換会」を開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ スタッフ不足。まちづくり協議会の会員を増やし、専門部会の活動をさらに改善していくことが必要。 □まち協ニュースは、6月以降計画通り発行できた。定期発行を継続するために、編集委員体制を維持することが引き続き重要となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ カフェすみやまの実施 ○ 清掃行事:2回 ○ まち協ニュースの発行 ○ 要望書活動(地域要望の整理) 	—